

「つながろう 湯浅！」

～人と人がつながる家庭教育支援～

湯浅町教育委員会

家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」

c	o	m	m	u	n	i	T	y											地域
		s	u	p	p	o	R	t											支援
		a	d	m	i	n	I	s	t	r	a	t	i	o	n				行政
			e	d	u	c	A	t	i	o	n								教育
c	h	i	l	d	r	e	N												子ども
							G	o	o	d									良い
		s	c	h	o	o	L												学校
				h	o	m	E												家庭

和歌山県・有田郡・湯浅町



特産：みかん・びわ
アジ・サバの漁場
醤油・金山寺味噌
文化：熊野古道
伝統的建造物群保存地区

湯浅町の状況

H27年（12月現在）

- 人口：約13,000人
 - 小学校4校 児童数：約620人（約460世帯）
 - 中学校1校 生徒数：約340人（約320世帯）
- 児童生徒数合計：約960人（約780世帯）

町立保育所（3所）

私立幼稚園（1園）

私立保育園（1園）

子育て支援センター（1ヶ所・町立保育所内）

学校の課題

以前：生徒指導上の問題行動（反社会的行動）

子ども自身の問題として



最近：家庭環境・養育の問題（非社会的行動）

子どもをとりまく環境の問題として

地域社会の課題

核家族化

単親家庭の増加

地域社会の希薄化

地方経済の衰退



■子育て経験の非継承

■子育てへの無関心

■親の価値観の多様化

■子育て家庭の孤立化

■経済的不安定



家庭の教育力の低下

児童虐待 養育放棄 子どもの貧困 不登校

いじめ SNSトラブル 過度なクレーム etc.

家庭教育支援上の課題

※子育て情報や学習機会の提供

※地域・保護者同士のつながりづくり

■講演会・講座の開催

→ 出席者がごくわずか

→ 参加してほしい保護者の不参加

■啓発資料の配付

→ どれだけ目を通してもらえるか？

課題解決のために・・・

☆スクールソーシャルワーカーの配置(H20)

☆訪問型家庭教育相談体制充実事業(H21)

アウトリーチ型支援の実施

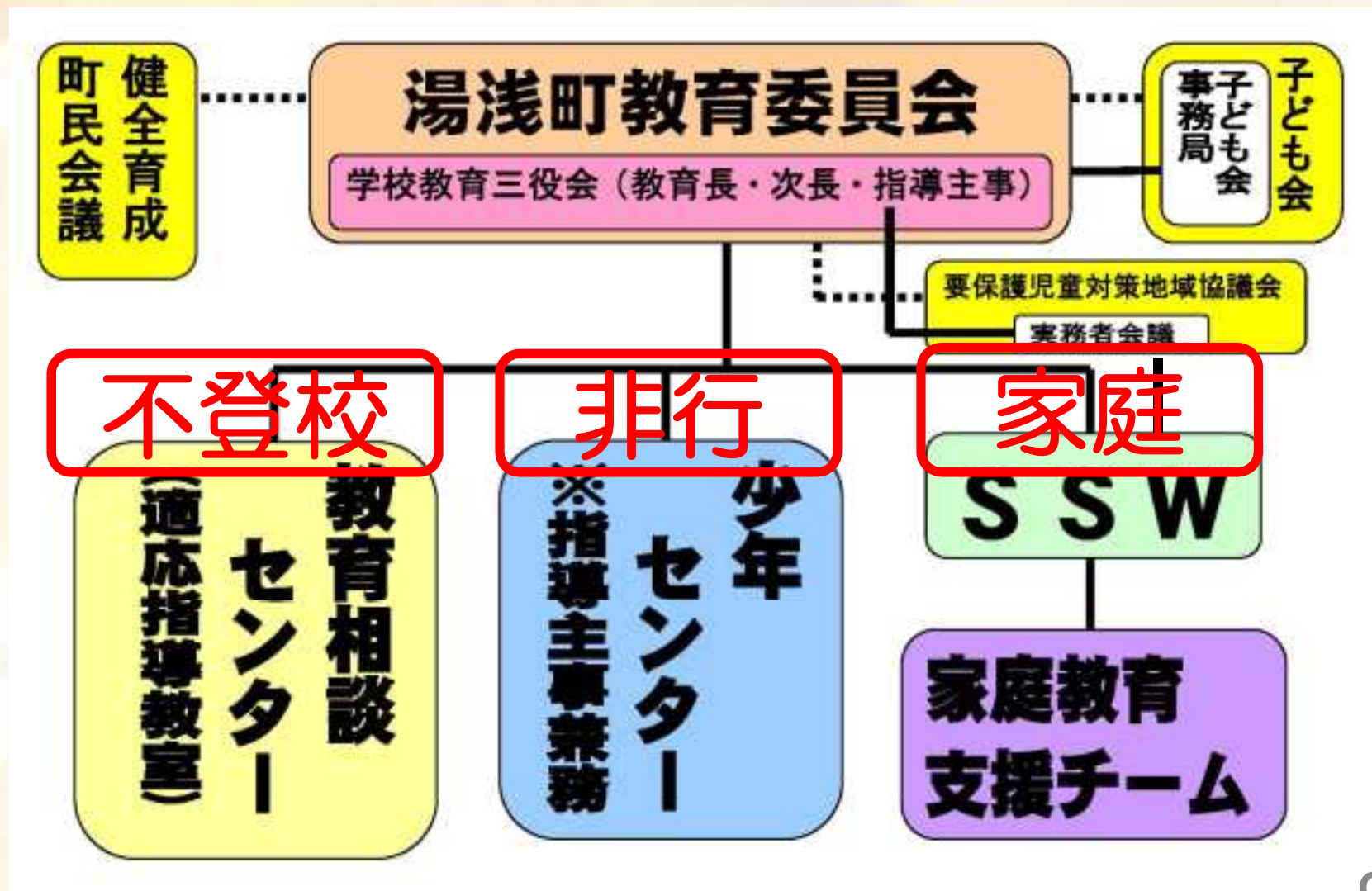
- ・支援が必要な家庭の把握
- ・個別相談対応



◎全戸訪問による支援の有効性

未然防止・早期発見・早期対応

湯浅町：子どもや家庭への支援体制



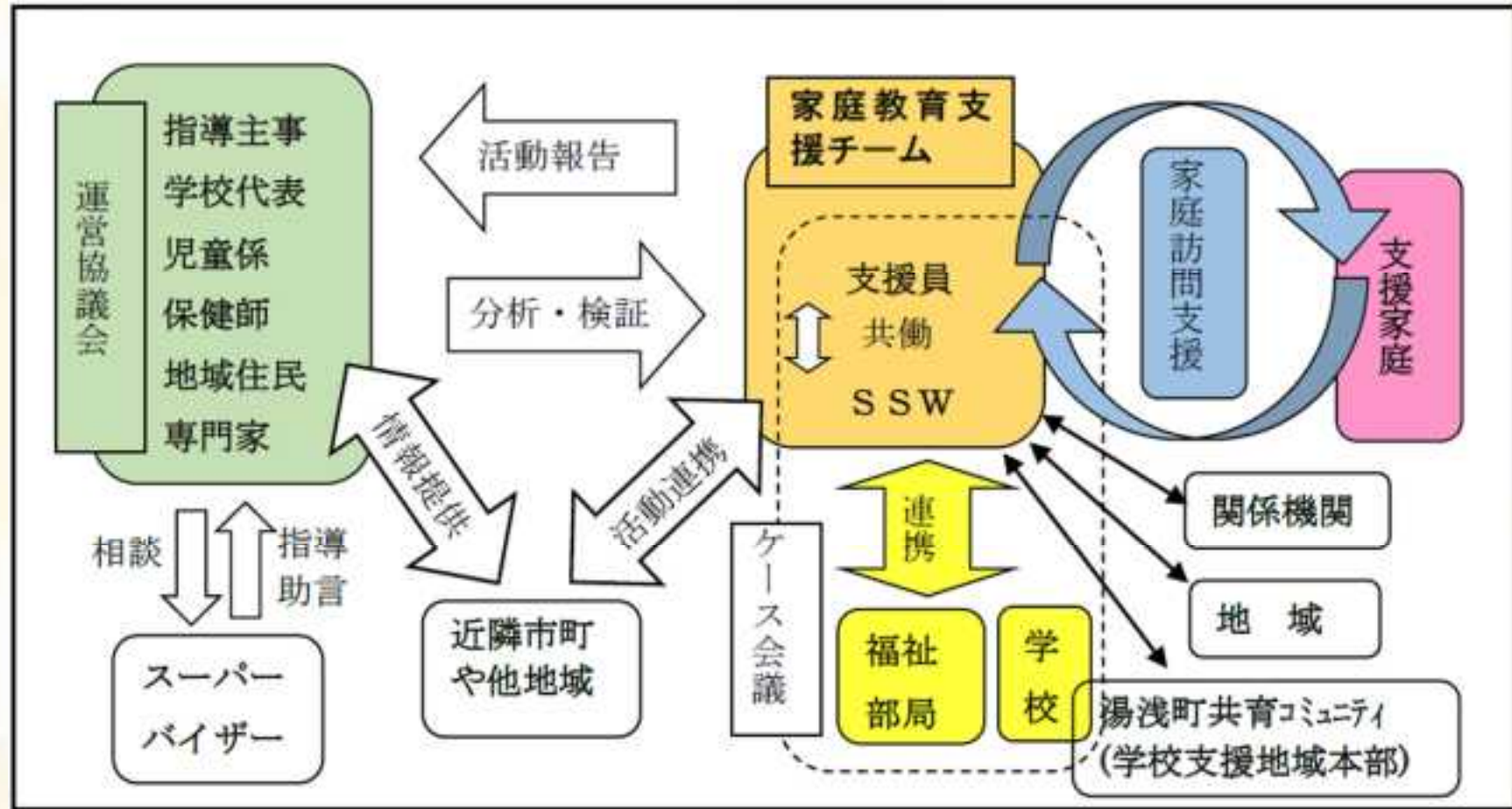
家庭教育支援事業の趣旨

「つながろう 湯浅！」

～人と人がつながる家庭教育支援～



事業体制図



子育て・家庭教育支援事業(H27)

- 子育て・家庭教育支援センターの設置
 - ・ 相談窓口の一本化（役場1階）
 - ・ 専門員の配置（SSW・チームリーダー）
 - ・ 支援員の配置（支援チーム員）
- 全戸訪問（乳児～中学生の全家庭）
- 情報誌の配布（乳児～中学生の全家庭）
- 保健センター、保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校などとの連携

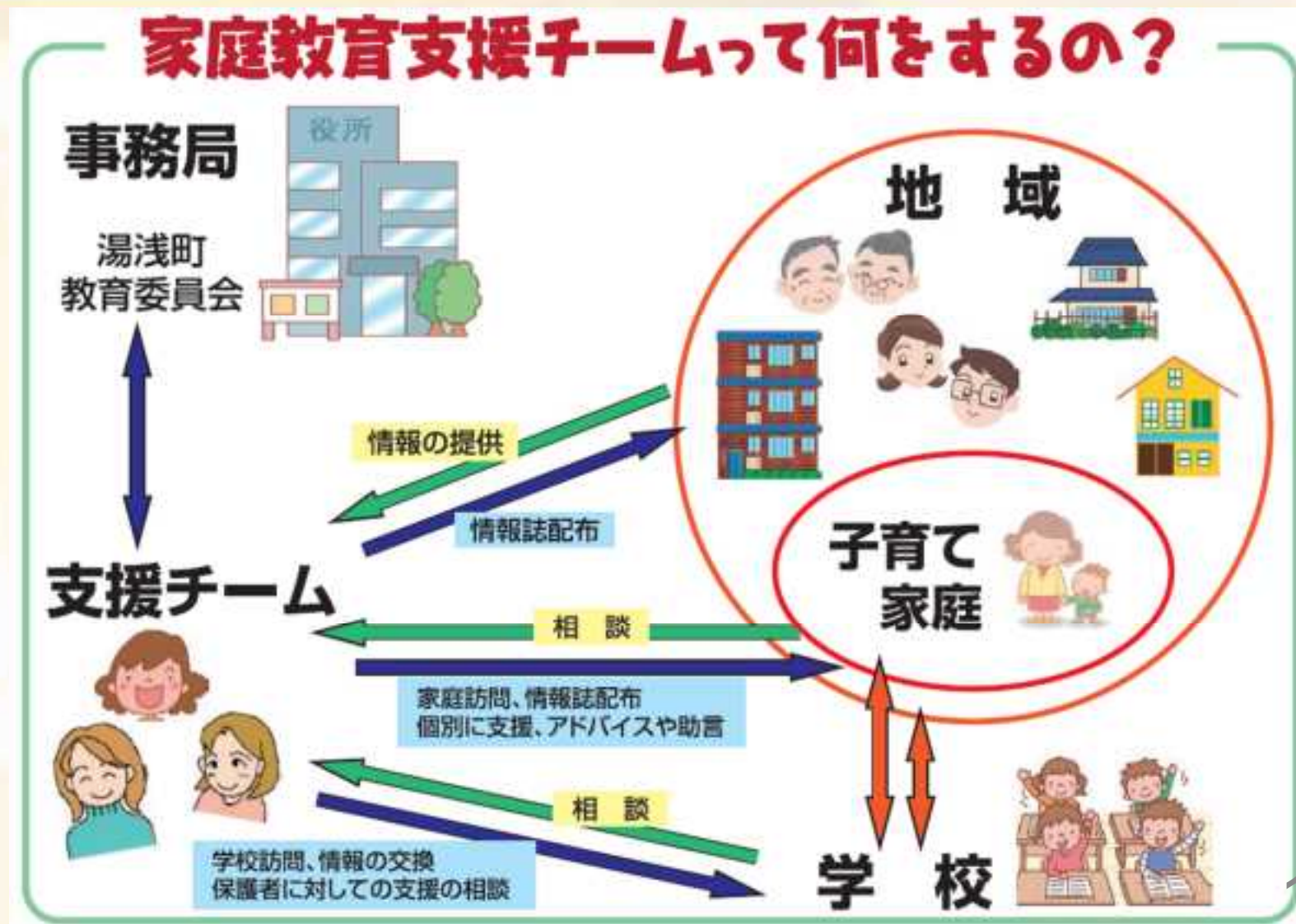
子ども・子育て支援センター 「とらいあぐる」



スクールソーシャルワーカーの主な活動

- 学校（園所）・教職員からの相談対応
管理職との連携 教職員との情報交換 いじめ対策会議
授業観察 学校との定例的な会議 個別のケース会議
- 子どもや保護者からの相談対応
家庭訪問や面談等で直接支援 各関係機関につなぐ
- 家庭教育支援員との連携
支援員からの報告や情報への対応（学校への連絡・指導
主事への報告相談・支援員への返答・指示）
- 要保護児童対策地域協議会等における支援活動
- 関係機関との連携

家庭教育支援チームって何をするの？



子育て・家庭教育支援員の構成

- リーダー(元保育所所長)：週3日
 ※県スクールソーシャルワーカー（週2日）
- サブリーダー(元保育所副所長)：週4or5日
- 訪問支援員（男性1名、女性11名）
 元校長、保護司、栄養士、民生児童委員、
 母子推進委員、地域住民、
 読み聞かせボランティア活動員

具体的な活動内容

※支援が必要な家庭に対して、具体的にどのような関わりを行っていいのか？

- 家庭教育情報誌の作成・配付による啓発
- 家庭訪問によるつながりづくり・相談対応
- 家庭（保護者）への直接・間接的支援

◎家庭の安定＝子どもへの健やかな成長

※学校や関係機関との連携

子育て・家庭教育情報誌『すまいる』

「すまいる²」 「Babyすまいる」 「全戸配布用すまいる」

- コンセプト：「つながろう 湯浅！」
- 誌面構成：「園・学校等紹介」「漫画」「レシピ」「行事予定」等
- 内容
 - ・ 保護者、子育て経験者の視点
 - ・ スクールソーシャルワーカーの視点
 - ・ 保育所、幼稚園、学校現場の視点
 - ・ 教育委員会の視点
 - ・ 地域での見守りの啓発

新『すまいる²』(幼保小中)と『Babyすまいる』(乳幼児)



情報誌『すまいる』配布状況

■ 保護者向け（乳幼児から小中学校） ※毎月発行

※家庭訪問による配布

（小・中学校世帯と乳幼児世帯、3ヶ月に1回）

A 湯浅小学校区 約340世帯

B 山田、田栖川、田村小学校区 約120世帯

保育所・幼稚園・未就園児 約340世帯

C 湯浅中学校区 約320世帯

町内全戸家庭向け ※年2回発行

※自治会を通じて町内回覧により配布

子育て・家庭教育の取り組みを通して

- 全戸訪問をすることによって気になる**家庭の見守り・全世帯の状況把握**
- 訪問時、保護者や家族の方と会話することで、**つながりづくりや不安・不信感などの解消**（学校へのクレームの減少）
- 子育て・家庭教育支援室を設置することで、**養育相談が増加**
- **福祉と教育の協働**
- **第三者が対応することのメリット**

DVDをご覧ください

家庭教育は、すべての教育の出発点

忙しい毎日の中で、子供とのコミュニケーションやしつけに声がいや息詰まりなど、一人で悩んだりすることはありませんか？
そんな時、近くに気軽に相談できる人がいたら・・・
家庭教育支援チームは、そんなご家庭での皆さんの頑張りを共に支え、地域や学校とのつながりがづくりや専門機関との連携をお手伝いします。

1. はじめに
2. 橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」
～メンバーの得意分野を生かした多様な取組～
3. 千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」
～地域における支援のネットワークづくり～
4. 湯浅町家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」
～全戸訪問による相談支援～
5. おわりに

文部科学省は、各地で活動する家庭教育支援チームを応援しています。



文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

18min	片巻・1巻ディスク	MPEG-2	COLOR	複製不能
	16:9 LB			

家庭と地域・学校をつなぐ

家庭教育支援チーム



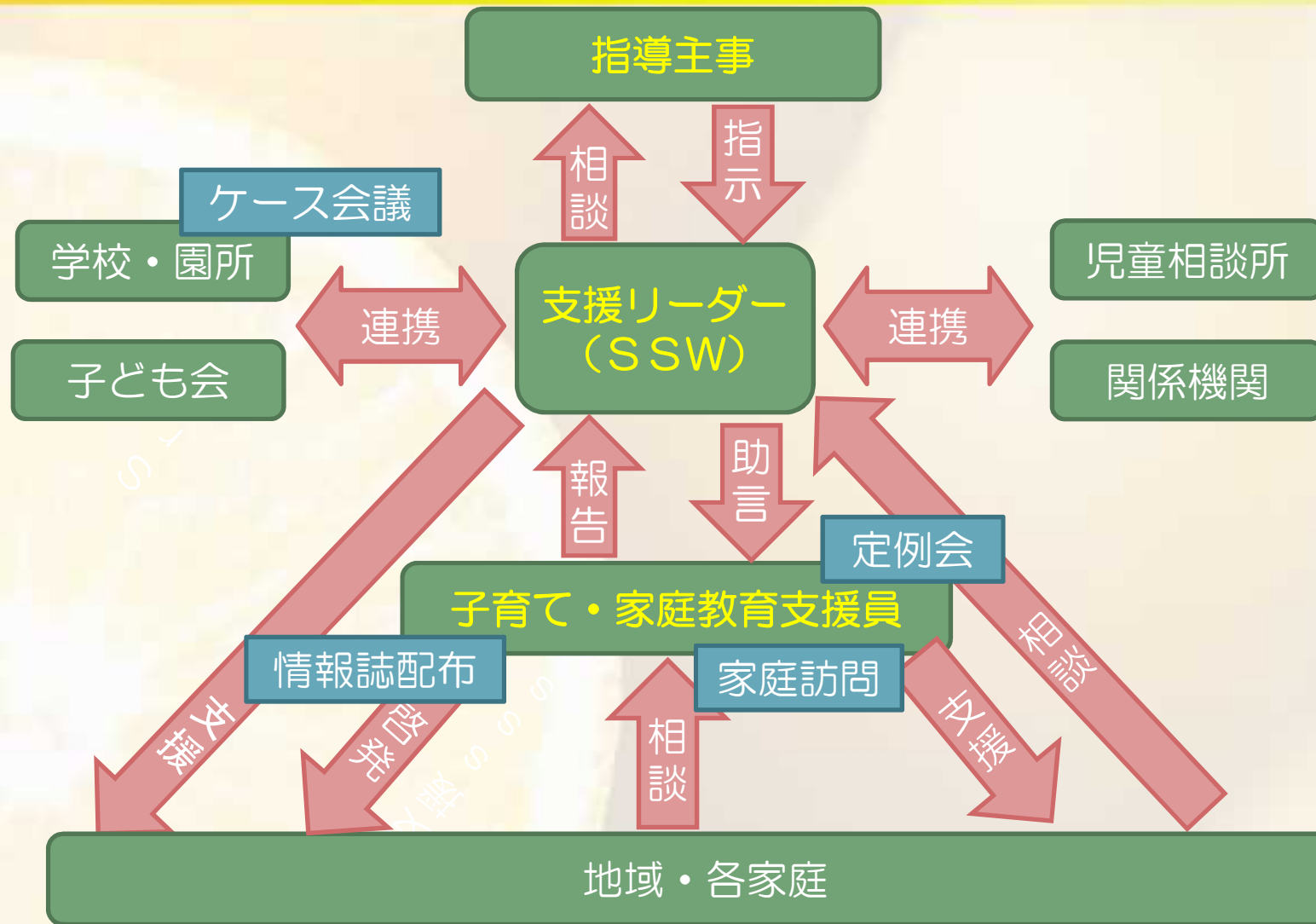
家庭と地域・学校をつなぐ 家庭教育支援チーム

～親子が元気になる家庭教育支援の実践のために～



文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

SSWを中心とした支援体制



学校との連携強化

支援方針の共有

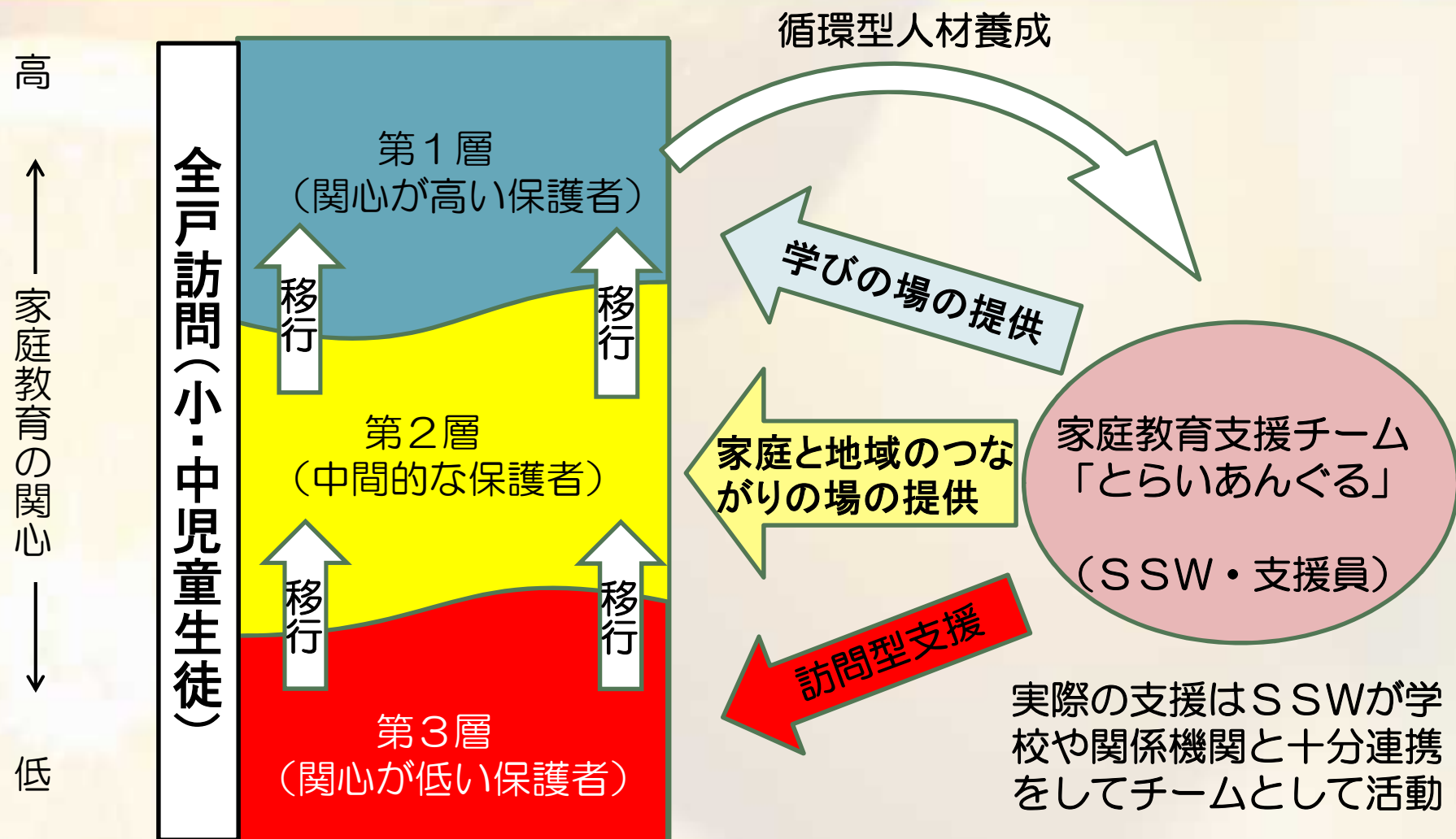
子どもや保護者にどのような支援をしていくのか？

- 学校との情報共有
 - ・ 家庭訪問後の報告（親の思い・学校への要望等）
- 個別ケース会義等での支援方針の共有
- 学校とSSW・地域の支援員と連携会議
- 小・中学校との連携会議
 - （小学校学習支援・中学校生徒指導・子ども会
・ 指導主事・SSW）

アウトリーチ型支援を行うにあたって

- 市町村・教育委員会による公的位置づけ
守秘義務、公共性、他機関との連携等
- 訪問支援活動のねらいの明確化
- 支援チームの組織及び体制づくり
- 訪問時の相談対応スキル等
- 園所・学校や専門機関との連携
- 健康福祉部局の事業との連携
- 全戸・個別訪問のメリットと実効性

家庭教育支援チームのねらい



湯浅町教育委員会学校指導全体計画

「つながろう 湯浅！～学校・家庭・地域が一体となって子どもを育む町、湯浅町」

「つながろう 湯浅！～学校・家庭・地域が一体となって子供を育む町、湯浅町」～ゆあき共育コミュニティ形成と市民性を育てる教育の実現～

事業の趣旨

学校・家庭・地域住民及び関係機関等が連携及び協力し、多様な問題行動等の予防や解決と、児童生徒の健全育成に向け、地域のネットワークづくりを踏まえた実践的な取組を行う。

湯浅町のねらい

①「ゆあき共育コミュニティ」の形成のためのネットワークづくり

学校・家庭・地域が課題や困りごとを共有し、共同して課題解決や目標達成に取り組み、地域全体が一つになって子どもたちを教育するためのネットワークづくりを行う。

学校、生活地域、関係機関等が一体となって子どもたちの活動や子育て、家庭を支援できる地域ネットワークづくり

地域とのつながりを大切にした体験活動、学校支援の充実

家庭教育の充実に向けた啓発活動と学力向上のための通達づくり

子どもたちの健全育成に必要となる課題解決、問題意識のための科学的活動の実現

安全安心の確保や問題行動等の未然防止

問題を考える子どもや家庭への支援

②「市民性を育てる教育」の実現

子どもたちが自分も他者も大切にし、地域社会の一員であるという自覚のもと、義務と責任を果たしながら、社会に主体的に参画しようとする意欲や態度を育てる。

「市民性」という概念を大切にした教育を推進することにより、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康や体力」の3要素の統合が促進され、様々な社会活動を通して、「生きる力」が「市民性」として発現させる。

豊かな人間性

確かな学力

健康や体力

自らを律しつつ、他者と協調し、他者をおもいやる心や感動する心などの豊かな人間性

自分で課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する能力

たくましく生きるための健康や体力

取組の成果と課題

つながろう 湯浅！

当たり前のことが当たり前以上にできる

具体的取組

地域行事への参加
学校支援ボランティア
- 遠くともチャリティー
- 小・中学校
体験活動の充実
- マイ賞品づくり
- 卒業式

青少年健全育成委員会
湯浅町安全安心サポート隊
- 老人会、各種団体の参加
問題行動未然防止の取組
- 小中連携
〈相互参観、連携シート等〉
- 長次参観(10日以上)
- 通達、人権教育の充実
〈人間関係力向上等の授業の連携と実践記録の交流〉

教育相談センター
(遠征指導教室)
- 不登校等を中心とした少年センター
- 多汗等を中心としたSISW
- 通達等家庭全体への働きかけを中心とした家庭教育支援チーム
- 保護者への相談支援等

生活アンケートの活用
- 学年、学期別の活用
- 調査、説明による保護者との連携
- 調査、人権教育の充実
- 調査の時間的充実
- 調査活動や他校からの参観の連携等と連携づくり

学習指導の確立
授業改善(わかち授業)
- 身につけさせる力の明確化
- 地元を基にした活動
- 口頭での質疑応答
- 総合的な学習の時間等の充実
- 体験学習や地域学習の充実
- コミュニケーション能力の向上
学力調査等の活用
- 結果の活用
- 学力向上のための取組
- 学力向上のための取組
- コミュニケーション能力の向上
- 学力向上のための取組

共有ミニ集会

問題行動等の取組のきっかけづくり

生活アンケートの活用

学習指導の確立

学習指導の確立

成果

社会参画への意欲
地域社会の一員としての自覚と責任感の芽生え
学校連携・顔色の実現

家庭学習の充実

きめ細やかな生徒理解による指導の充実と自尊感情・道徳性の向上

基本的な生活習慣及び規範意識の向上

可人間関係力、仲間意識の向上

課題

平成24年度以降「定着・深化期間」

課題① 「ゆあき共育コミュニティ」形成のためのネットワークの拡大
○地域共有コーディネーターや地域人材の活動の充実

課題② 学校と関係機関の協力的な連携
○ケース会議の持ち方など行動連携の充実

課題③ ボランティア活動を通して芽生えた自主的な活動や取組の学校全体への普及

課題④ 生徒の規範意識のさらなる向上と、より確かな「市民性」の育成

おわり

